



三国中学校だより

【校訓】誠心 自主 創造

— 自ら想像し、考え、行動する生徒の育成—

合言葉：進取果敢



小郡市立三国中学校

第 24 号

令和8年2月19日発行

文責 校長 米倉佳美

2年生修学旅行に行ってきました！〈ピース ~繋がる心、広がる笑顔~〉

2月3日(火)～5日(木)の2泊3日で、2年生は、奈良・京都へ修学旅行に行ってきました。3日間とも好天に恵まれ、大きな事故もなく無事に終えることができました。

1日目は、東大寺や奈良公園、平等院鳳凰堂の見学、2日目は、京都市内の班別自主研修、よしもとライブを鑑賞しました。3日目は、嵐山散策をしました。

2日目の班別自主研修に出発する前、ある班の「待たせてごめんなさい。」「いいよ、気持ち切り替えていこう!」というやりとりが耳に入ってきました。私はとても心が温かくなり、その班の自主研修が素敵なものになる予感がしました。一日京都の街をバスや電車で移動しながら五感フル回転、16時過ぎには、宿泊所でありゴールでもあるホテル本能寺に全ての班が帰ってくることができました。紙袋に入ったお土産を大切に抱え、とても満足そうでした。私も金閣寺から京都駅、清水寺へと行く途中、いくつもの班に出会いました。立ち止まったり、周囲を見渡したり、自分たちの力で進んでいる姿がとても印象に残りました。

この3日間、仲間のさりげない心遣いに救われた瞬間があった人もいるでしょう。自分の気持ちをうまく伝えられず、悩んだ場面もあったかもしれません。意見がぶつかり、どう折り合いをつけるか迷いながら、それでも相手の言葉に耳を傾け、歩み寄ろうと努力した時もあったのではないのでしょうか。そうした一つ一つの出来事は、決して目立つものではありません。しかし、仲間と向き合い、自分と向き合い、前に進もうとしたその姿こそが、みなさんの成長そのものだと思っています。

この修学旅行で得た学びや気づき、そして仲間との絆は、これからのみなさんの学校生活を必ず豊かにし、さらに温かく、力強い学年をつくっていけると確信しています。

保護者のみなさまには、事前準備から当日まで多くのご協力をいただき、心より感謝申し上げます。今後も学校生活の中で、この学びを活かして成長していく子どもたちを温かく見守っていただければ幸いです。



人権を考える日 ～学びを通して、どんな行動や生き方につなげるか!～

2月6日(金)に1・3年生、2月13日(金)に2年生が、人権についての学びを深めました。2年生は、修学旅行の取組を終えた段階での実施としました。

1年生…「自分たちの生活を振り返り、個人・学級の課題を確認しよう。」

2年生…「これまでの学習を振り返り、私たちができる行動を考えよう。」

3年生…「これまでの学校生活を振り返り、『私の人権宣言』を書こう。」

三国中学校では、人権について子どもたちと共に考える時間も大切にしています。人権は、私たちが安心して幸せな「日常」を送るためには大切にされなければならないものです。違いを認め合うこと、相手の気持ちに寄り添うこと、こうした一つひとつの行動が、子どもたちの「日常」に根づくことで、人権を大切に作る心が育っていくと考えます。

これからも、学校・家庭・地域が力を合わせ、子どもたちが安心して過ごせる環境を整えていくことができれば幸いです。引き続き、ご理解とご協力を心よりお願い申し上げます。以下に、子どもたちの学びの一部を紹介します。

【1年生】

まず、今の自分の課題は自分でできるようになり、クラス全体の課題をみんなで変えていきたいです。当たり前前は、きちんと当たり前前にできるように、日常生活を変えていきたいです。自分だけは「ラクしていいや」みたいなことはなくしていき、みんながよりよく過ごせるように一人で呼びかけるのではなく、みんなが呼びかけるように頑張っていきたいです。

【2年生】

仲がよいからといって、あたりや言葉を強くしないで、言われた方はどんな気持ちになるかを考え、クラスの発言がしやすいような雰囲気を作るよう意識していきたいです。

相手の立場になって考えてから言葉を選ぶようにする。他人任せにして意見が言いにくい雰囲気になると、反応とかもなくなっていくから、一人ひとりが声を出していけば、雰囲気もよくなっていくと思った。

【3年生】

これからいろんな人と出会い、その中で、自分とは違う考えや個性の人たちに出会おうと思うけれど、そのときに、この人は自分と違うからと言いついて関わらないのではなく、自分とは違う考えや個性を受け入れられる人に私はなりたいたいと思いました。私は中学校3年間で人権学習や道徳で学んだことを生かしながら生きていきたいと思いました。そのためにも、おかしいことははっきりおかしいと言えるようになりたいし、もし、友だちがおかしいことを言っていたら「おかしくない?」と言える人間になりたいです。

